



あわじしま 淡路島のステキなもの

SDGs

人と自然とのよい関係

淡路景観園芸学校 | ALPHA Awaji Landscape Planning and Horticulture Academy

淡路景観園芸学校は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

この小冊子は、2020年淡路市連携大学まちづくり活動補助金を活用して作成しました。

編集 | 小松良介、菅井暁乃、武部絵里香、谷河 澤、難波梨菜、澤田佳宏、守 宏美

デザイン | にしもとひろこ

発行 | 兵庫県立淡路景観園芸学校 SDGs推進チーム

〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤954-2 tel. 0799-82-3131 fax. 0799-82-3124



エス・ディー・ジーズ(SDGs)ってなに？



世界中の人たちがみんな幸せに暮らせるように、世界の国が集まって2030年までに達成する17の目標を決めました。この17の目標のことをエス・ディー・ジーズ(SDGs)といいます。



淡路景観園芸学校でもSDGs達成に向けていろいろな活動を始めています。

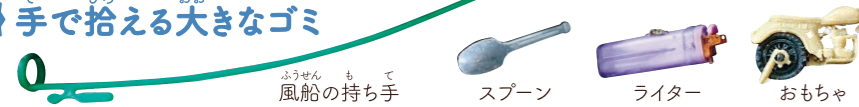


大きな海の小さなプラスチック問題



あわじしま 淡路島のきれいな砂浜。でも、近寄って見てみると、あれれ!? いろんなゴミが混じっている。調べてみよう!

1 手で拾える大きなゴミ



2 5mmより大きなゴミ

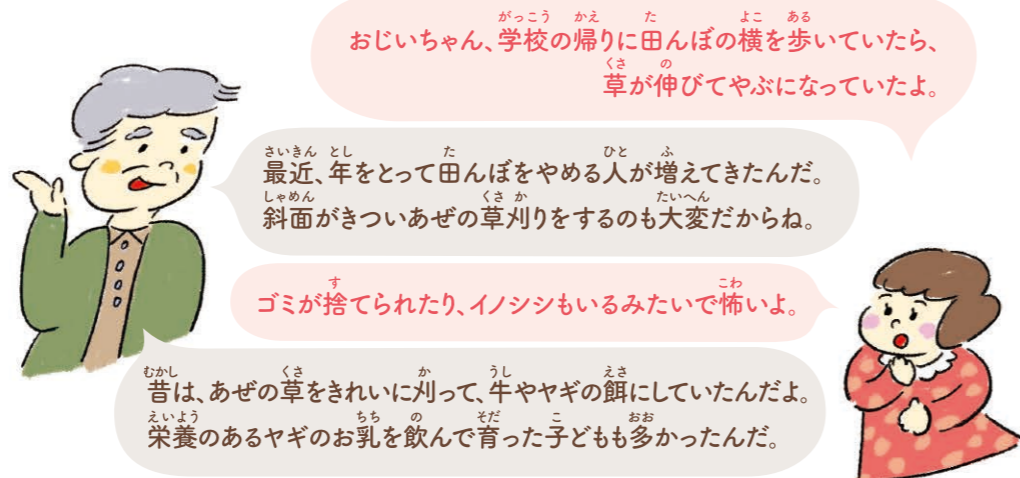


3 5mmより小さなゴミ



すなはま 砂浜から、砂と見分けがつかない小さなプラスチックがたくさんで来たよ。大きなプラスチックも、波や日光の力でどんどん細かくなっていく。魚の体の中から、小さなプラスチックが見つかったんだ。

草刈りはヤギにお任せ

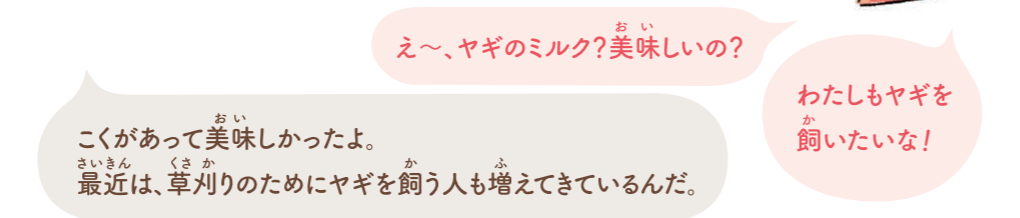


おじいちゃん、学校の帰りに田んぼの横を歩いていたら、草が伸びてやぶになっていたよ。

最近、年をとって田んぼをやめる人が増えてきたんだ。斜面がきついあぜの草刈りをするのも大変だからね。

ゴミが捨てられたり、イノシシもいるみたいで怖いよ。

昔は、あぜの草をきれいに刈って、牛やヤギの餌にしていたんだよ。栄養のあるヤギのお乳を飲んで育った子どももおおかったんだ。



え〜、ヤギのミルク? 美味しいの?

わたしもヤギを飼いたいな!

こくがあって美味しかったよ。最近、草刈りのためにヤギを飼う人も増えてきているんだ。



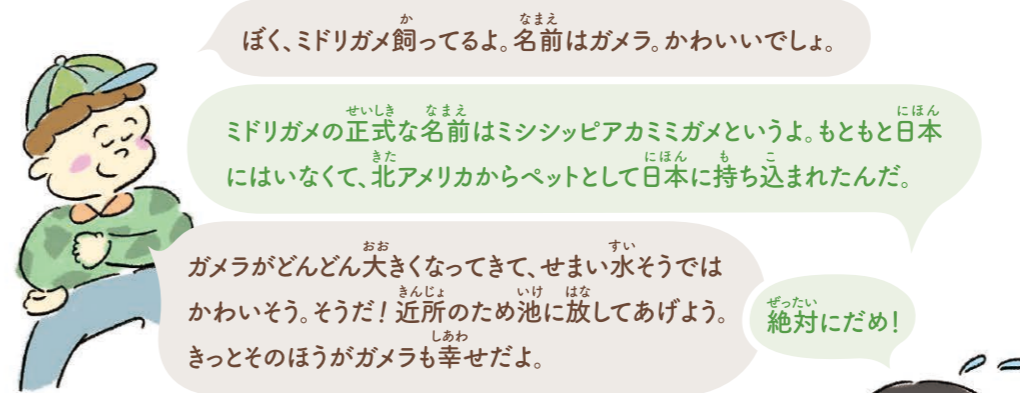
ユキです

コユキだよ

ヤギが草を食べるとこんなにきれいになるよ。

わたしの学校では親子のヤギを飼っているんだ。淡路島内の田んぼで草刈りのお手伝いをしているよ。

ペットのカメを池に放しちゃダメ!

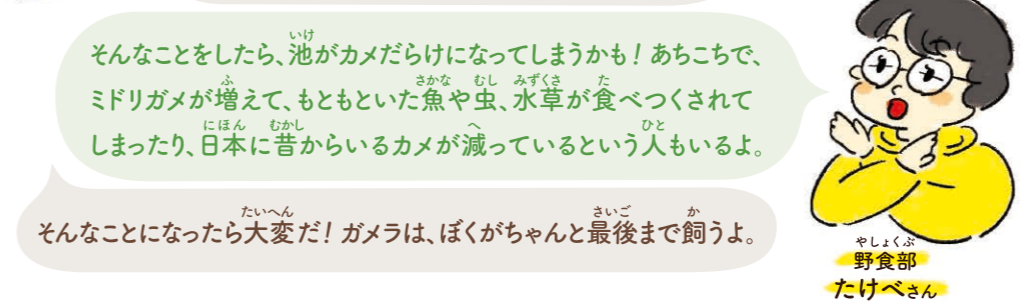


ぼく、ミドリガメ飼ってるよ。名前はガメラ。かわいいでしょ。

ミドリガメの正式な名前はミシシippアカミガメというよ。もともと日本にはいなくて、北アメリカからペットとして日本に持ち込まれたんだ。

ガメラがどんどん大きくなってきて、せまい水そうではかわいそう。そうだ! 近所のため池に放してあげよう。きっとそのほうがガメラも幸せだよ。

絶対! 絶対にだめ!



そんなことをしたら、池がカメだらけになってしまうかも! あちこちで、ミドリガメが増えて、もともといた魚や虫、水草が食べつくされてしまったり、日本に昔からいるカメが減っているという人もいますよ。

そんなことになったら大変だ! ガメラは、ぼくがちゃんと最後まで飼うよ。



淡路島では他にも問題になっている生き物がいます。

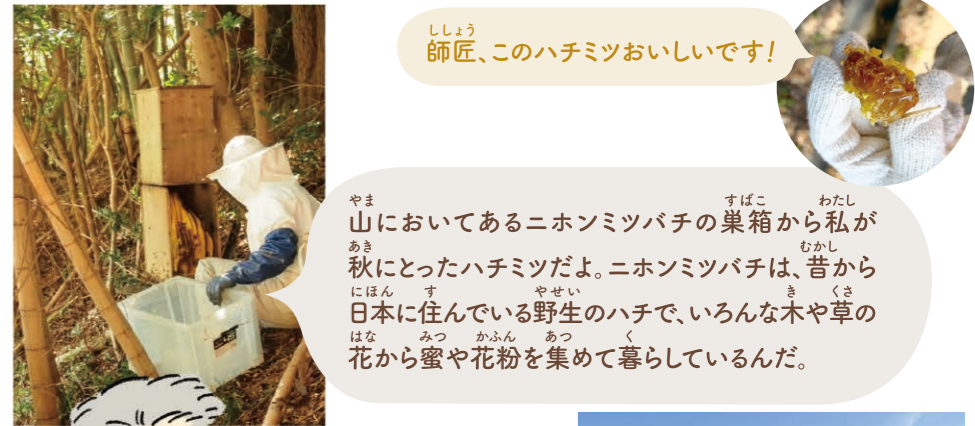
この水草をすべて取り除きました

ブラックバスのムニエル

わたしはこんなこともしているよ。

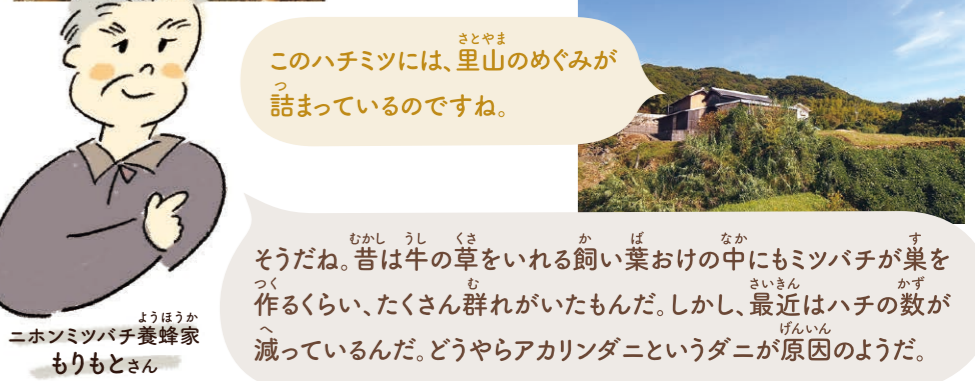
外国から持ち込まれた水草。増えすぎて他の生き物やお米作りに悪影響を与えているよ。

ニホンミツバチのはちみつ



しょう 師匠、このハチミツおいしいです!

山においてあるニホンミツバチの巣箱から私が秋にとったハチミツだよ。ニホンミツバチは、昔から日本に住んでいる野生のハチで、いろんな木や草の花から蜜や花粉を集めて暮らしているんだ。



このハチミツには、里山のめぐみが詰まっているのですね。

そうだね。昔は牛の草をいれる飼葉おけの中にもミツバチが巣をつくるくらい、たくさん群れがいたもんだ。しかし、最近ハチの数が減っているんだ。どうやらアカリダニというダニが原因のようだ。

ニホンミツバチが花粉を運んでくれないと、植物はタネや実をつけられない。生きものたちのつながりに影響がでないか心配です。僕たちもニホンミツバチの様子を見守っていきます!

ニホンミツバチ部 こまつさん

学校内に巣箱を置いて、ニホンミツバチを飼っているよ。